

## RFMD ニュース

### 会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.  
Irma Swain, Communications Manager  
7628 Thorndike Road  
Greensboro, NC 27409-9421, USA  
電話: +1 (336) 931-6653  
iswain@rfmd.com



## RFMD 社、3G マルチモード端末用 EDGE パワーアンプを Huawei 社に供給

### この出荷で EDGE RF ソリューションのリーダーシップを強化

ノースカロライナ州グリーンズボロ、2007 年 12 月 11 日 : 高性能無線システム/ソリューションの設計、製造で世界をリードする RFMD 社(ナスダック: RFMD)は本日、中国の華為技術(Huawei)社が立ち上げ中の U120E 3G マルチモード(UMTS/EDGE)端末に同社の 4 バンド大信号ポーラ変調(LSPM)EDGE パワーアンプ(PA)モジュール、RF3161 が採用されたことを明らかにした。

RF3161 は現在生産されている業界最小、最薄の EDGE PA で、LSPM 方式の EDGE 送信系を持つ主要な 3G マルチモード携帯端末プラットフォームのいずれにも使えるよう設計されている。携帯電話フロントエンド市場で業界 1 位の RFMD 社は、3G マルチモード端末用の EDGE/UMTS 用フロントエンドの最大のメーカーでもある。また同社は LSPM 方式の EDGE 送信系を採用した RF ソリューションの市場でも業界 1 位の座を確保している。

「華為技術社の U120E 3G マルチモード端末用に RF3161 PA の出荷を始めることができ、たいへん喜んでいきます。この RF3161 は、当社の最新 EDGE RF ソリューション POLARIS™ 3 を含む、EDGE フロントエンドおよび商業市場向け LSPM EDGE RF ソリューションにおける当社のリーダーシップを更に強化するものとなります。当社では引き続き携帯電話フロントエンドのシステムレベルの専門技術とリーダーシップを生かし、RF3161 のような高性能製品の設計、出荷、サポートを通じて華為技術社を始めとする端末機器メーカーが複雑な次世代端末の部品配置から大量生産までの開発を迅速かつ効率的に行えるよう手助けしていきます。」と RFMD 社 セルラー端末製品グループ担当副社長のエリック・クレビストンは語る。

「華為技術社のスタイリッシュな U120E 3G マルチモード端末に当社の RF3161 が採用されたことにたいへん満足しています。各端末メーカーはその優れた効率と高性能を生かす当社のリニア EDGE パワーアンプおよび LSPM EDGE パワーアンプの採用を継続しています。今後の 3G マルチモード端末についても、引き続き新しい革新的なフロントエンドモジュールの供給を通じて華為技術社をサポートしていきます。」と RFMD 社のコンポーネントソリューション事業部長ポール・オーガスティンは語る。

華為技術社の U120E は、RFMD 社の RF3166 PowerStar® PA を採用した U120 端末の後継機。

高い集積度を誇る RF3161 は 6 x 6 x 1 mm の極小パッケージで、これは現在生産されている EDGE PA モジュールの中では最小、最薄のデバイス。RFMD 社では、ますます増加する EDGE 機能付き新端末に RF3161 および高効率 リニア EDGE PA の RF3159 が数多く採用されることを期待している。

**RFMD 社について:**RF マイクロデバイセス社 (NASDAQ GS RFMD) は、無線通信／ブロードバンド通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム／ソリューションを設計、製造する業界リーダー。RFMD 社の携帯電話用フロントエンド、携帯電話用トランシーバ、システムオンチップ (SOC) ソリューションは携帯端末、携帯電話基地局、無線 LAN (WLAN)、CATV ネットワーク、航空宇宙、防衛、GPS 等の市場で活用され、その最先端の機能をサポートして通信能力を強化し、世界全体のモビリティを向上させている。幅広い分野の最新半導体技術と RF システムの専門技術で知られる RFMD 社は、移動通信機器や RF システムを手がける世界中の一流メーカーから最も信頼されている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置く RFMD 社は ISO 9001 および ISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD 社は RFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報は RFMD 社のホームページ、[www.rfmd.com](http://www.rfmd.com) に紹介されている。

#### 「将来的な予測」の記述について

このプレスリリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウエハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES<sup>®</sup>、RFMD<sup>®</sup>、PowerStar<sup>®</sup>は RFMD, LLC の商標である。  
その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###